

顎口腔発育・社会歯科学実験実習

4 単位 (選択) 1 年 (通年), 2 年 (通年)

野間 隆文 (授業責任者)・教授 / 口腔科学専攻 口腔健康科学講座, 三好 圭子・講師 / 口腔科学専攻 口腔健康科学講座, 堀口 大吾・助教 / 口腔科学専攻 口腔健康科学講座, 武藤 太郎・

【授業目的】 顎口腔領域を形成する種々の組織の発生や形成異常の分子機構を実験的に解析する原理と方法を学び, その成果を発表する方法を学習する。

【授業概要】 歯, 骨, 筋, 神経など顎口腔領域を形成する種々の組織の発生や形成異常の分子機構が急速に解明されてきていることから, 成長発育過程で生じる顎口腔形態・機能異常の発症機構の解明および予防法・治療法開発に関する実験指導を行い, その成果を学術論文にまとめる方法を指導する。

【履修上の注意】 指導教員とよく相談すること。

【授業計画】

1. オリエンテーション
2. 実験テーマの研究
3. 実験実習 1; 生体分子の取り扱い方, 試薬, 器具の取り扱い方, 実験の安全な取り組み方
4. 実験実習 2 / タンパク質, 核酸, 脂質, 糖質の取り扱い方
5. 実験実習 3 / RNA の抽出と定量, RT-PCR 法, 電気泳動法 (1)
6. 実験実習 4 / RNA の抽出と定量, RT-PCR 法, 電気泳動法 (2)
7. 実験実習 5 / RNA の抽出と定量, RT-PCR 法, 電気泳動法 (3)
8. 実験実習 6 / 組織, 細胞からのタンパク質の抽出と定量, SDS 電気泳動法 (1)
9. 実験実習 7 / 組織, 細胞からのタンパク質の抽出と定量, SDS 電気泳動法 (2)
10. 実験実習 8 / 組織, 細胞からのタンパク質の抽出と定量, SDS 電気泳動法 (3)
11. 実験実習 9 / 組織, 細胞染色法 (1)
12. 実験実習 10 / 組織, 細胞染色法 (2)
13. 実験実習 11 / 組織, 細胞染色法 (3)
14. 実験実習 12 / 組織, 細胞染色法 (4)
15. 実験実習 13 / 研究手法についての総括と論文作成について

【成績評価】 出席状況と課題についての実験実習内容で評価する。

【再試験】 行わない。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217466>

【連絡先】

⇒ 野間 (088-633-7325, ntaka@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 月~ 金の16:00~ 18:00に研究室へ来室して下さい。)

【備考】 特記事項なし